

5月定例教育委員会 会議録

日	時	令和元年5月8日（水） 午後4時00分～午後4時30分									
場	所	甲府市役所 9階 会議室9-2									
出席委員	小林教育長・市川職務代理者・原委員・末木委員・岡田委員										
出席事務局職員	饗場教育部長・太田教育総室長・佐藤生涯学習室長（生涯学習課長兼任）・星野総務課長・寺田学校教育課長・内藤学事課長・穂山教育施設課長・西海甲府商業高等学校事務長・碓井甲府商科専門学校事務長・田中歴史文化財課長・小林スポーツ課長、本田図書館長・橘田総務課課長補佐・宮川総務課課長補佐・保坂総務課主任										
傍聴人	なし										
署名委員											
委員会書記											
・教育委員あいさつ											
・会議録署名委員の指名 原委員											
・4月定例会会議録の承認 原案のとおり承認											
<table style="margin: auto; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">小林</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">末木</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">市川</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">岡田</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">原</td> </tr> </table>			小林			末木		市川	岡田		原
小林											
末木		市川									
岡田		原									
<p>1 開会</p> <p>小林教育長</p> <p>これより5月定例教育委員会を開会します。</p> <p>(1) 教育委員あいさつ</p> <p>原委員</p> <p>皆様、お疲れさまです。夕方の時間に開催される定例教育委員会は私にとって初めてです。しかも令和になり第1回目ですので、いつも以上に身が引き締まる思いで参りました。</p> <p>かつて経験したことのない大型連休を皆様いかがお過ごしでしたでしょうか。教育委員会におきましては、春休みより長く、改元もされたこの連休を、皆様方の適切なお準備のお陰で小林教育長さんから緊急連絡を頂くような事案もなく無事に終わり、安堵し感謝致しております。</p> <p>平成から令和へと改元されましたが、国民が晴れやかな気持ちで改元の瞬間を待ち遠しく迎え、2020年ぶりの生前退位のご英断をなされました平成の天皇陛下へ多くの国民が感謝と敬意の気持ちを持たれたと感じられました。この英断は、国民の生活に寄り添い、継承を重んじられ、引き際や去り際の美しさを自ら私達にお示しくださったのではないかと思います。</p>											

今、改めて私たちは、仕事における「定年」だけでなく、人生における様々な「辞める・終わる・離れる」等、自身で決断すべき時期の大切さを学ぶべきではないでしょうか。今回は、それらを一言で「離の決断」と言わせて頂き、私の思いを述べさせていただきます。

連休直前に高齢者ドライバーによる悲惨な交通事故が、またもや起きてしまいました。報道によりますと以前から運転免許証返納を考えていたそうです。もし、その時に運転への「離の決断」をしていれば、尊い母子の命は失われなかったのかもしれない。

日産自動車の前会長ゴーン氏は、経営をV時回復させた直後のインタビューに「10年も20年も日産の社長を続けるつもりはない。」と答えていました。もし、その言葉どおりに日産への「離の決断」をしていたならば、今回の逮捕・起訴はなかったのかもしれない。せつかくの「離の決断」も、そのタイミングを間違えると、それまでの人生の栄光や輝かしい実績を台無しにしかねません。

子育てにおいても、子どもの自立に向けて親の「離の決断」のタイミングは重要だと思います。「子育ての最終目的は、子どもの自立である。自立とは、子どもが自分で決めて、自ら行動し、その結果の責任を自分でとる。これが子どもの自立である。」と、ある幼児教育者が明言しておられました。成人していても誰かの指示を待ち、物事を決められない、責任の取り方を知らない社会人も見受けられます。親としての「離の決断」を意識しながら、口を出し、手を差し伸べ、後始末をしていかなければ、子どもはいつまでたっても真の自立ができないのではないのでしょうか。

仕事においては、定年制の延長が検討されておりますが、今や人生は100年時代を迎え、かつては、寿命や制度任せにしていれば必要がなかった事に対しても「離の決断」を自分でしなければならぬ時代になってきたように思います。

私共の仕事に定年はありませんので、この年齢になりますと、いつまで続けるのか自分達で決めなければならない問題に直面してきました。息子もいよいよ自立の時期となってきました。私自身、身近な「離の決断」が迫ってきております。

本日はこの度の国民に支持された歴史的な改元にあたり、何を学ぶべきかと長い休みの間に思ったことを心に浮かぶままを述べさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

(2) 会議録署名委員の指名

小林教育長

会議録の署名委員は、原委員を指名します。

(3) 前回会議録の承認

小林教育長

前回の議事録について、事前に配布されておりますが、何かご意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、承認いただいたということでありがとうございます。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 議題

小林教育長

報告 第7号 平成31年度副読本・ワークブックについて 資料に基づきまして、寺田学校教育課長より説明をお願いします。

(寺田学校教育課長より資料に沿って説明)

小林教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありませんか。

岡田委員

何十年か前と比べるとカラーのページが増えたり、本が大きくなったことでランドセルが重くなってしまうので、国からランドセルを軽くするために教科書などを学校に置いていってもよいというような通知が出され、学校でもそのような指導していただいていると思うのですが、そのこととこの副読本の冊数の関連はあるのでしょうか。

寺田学校教育課長

先ほど冒頭でも説明しましたが、副教材自体が教科書以外の教材で有効な物ということで、あくまでも学習の視点で選んでおりますので、ランドセルの重い云々とは、直接関係性はないと考えております。ただ、今までも、特に小学校の低学年のランドセルについては重過ぎるのではないかと懸念する声が挙がっておりますので、現在、甲府市の各校において全ての教材を必ず持ち帰るのではなくて、必要な教材を持ち帰るよう指導をしています。また副教材自体については、購入にあたって、年度はじめのPTAの学年部会等でその副教材を購入する主旨、方針、使い方等を説明したうえで了承を得て購入しているような状況でございます。

小林教育長

ドリル的なものも教室のどこかにまとめて置いて、使う時だけに出すということもやっているということですよね。

寺田学校教育課長

特にドリル的なものは、学校によっては朝ドリルのような形で使っている場合は持ち帰る必要がないということで、基本的に一年中副教材が学校に置いてある状況になっております。

岡田委員

わかりました。

小林教育長

ほかにはないでしょうか。

末木委員

選定にあたっては各学校の現場の教師が必要に応じて自由に副教材を選んでいて、教育委員会でこれはダメというような指導はなくて、教育委員会へ届出さえすればよいということですね。

寺田学校教育課長

届出制ですので、出してもらったものをダメというようなことはなくて、基本的には出してもらったものをこちらが把握をするということになります。ただし、保護者負担等の中で適切なものを選んで負担を軽減するような指導はさせていただいているような形になっております。

末木委員

わかりました。

原委員

甲府市で統一するという考えは全くないのでしょうか。

寺田学校教育課長

副教材の種類や金額ということでしょうか。

原委員

同じ甲府市の小学校や中学校に通っていて、副読本やワークブックが学校によって違っているというのは、良い悪いということではなく疑問に思う方もいらっしゃるのかなと思いましたので。

寺田学校教育課長

今の時点では統一するようなことは考えていない状況です。教科書については、甲府地区で一斉の採択なので同じものを使っております。副教材については、学年が上がってきますと、自分の学校のこの学年のこの部分が弱いのでそれを補うために副教材を、ということになってきますので、統一するよりもある程度金額のことも考えながら各校の子どもの実態に合った物を学校の裁量で選定するというようなことに今はなっているとかと思います。

原委員

わかりました。ありがとうございます。

小林教育長

ほかにはないでしょうか。

よろしいでしょうか。

では、確認いたしました。

【原案どおり確認】

(教育委員会確認)

小林教育長

報告 第8号 平成31年度教育委員会総合教育視察について 資料に基づきまして、寺田学校教育課長より説明をお願いします

小林教育長

説明が終わりました。ご意見、ご質問等ありませんか。

原委員

毎年お願いをしているのですが、各学校の資料をいただけるとありがたいので、また今年もお願いできますでしょうか。

寺田学校教育課長

資料をご用意しておきます。昨年度それぞれ委員さんを中心にご指摘いただいた内容を含めたものをお渡しできると思いますのでよろしくをお願いします。

小林教育長

今の話は、視察の視点について学校の状況等を事前に委員さんにお渡しして、その視点を基に見ていただくというようなことでよろしいですね。

寺田学校教育課長

はい。

小林教育長

ほかにはないでしょうか。

よろしいでしょうか。

では、確認いたしました。

【原案どおり確認】

(教育委員会確認)

3 その他

小林教育長

その他、全体をとおして何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

4 閉会

小林教育長

それではこれもちまして、5月定例教育委員会を閉会します。